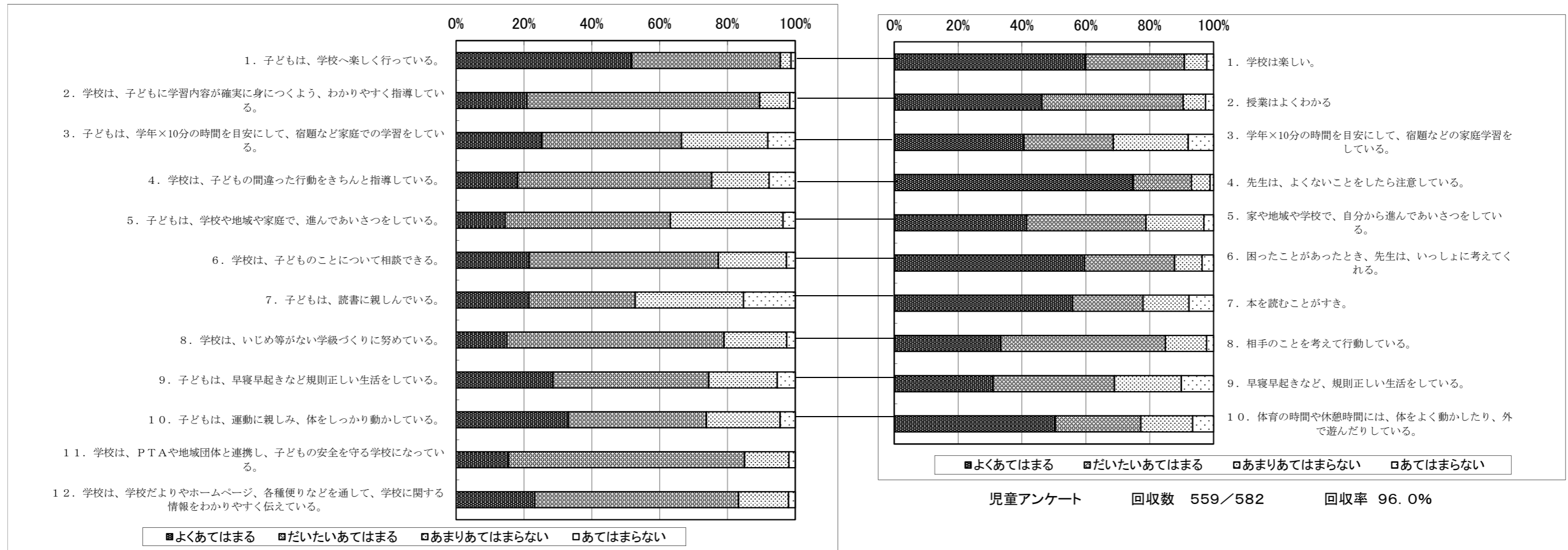


平成29年度 保護者・児童アンケート集計結果

平成29年11月21日～11月27日実施

昨年(28年度)の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には ―――― を結んでいます。



<結果のまとめ>

- ◆保護者アンケートの回収率は84.8%でした。昨年度と比較して「4. 指導」「6. 教育相談」「7. 読書」「8. いじめ等がない学級づくりの項目」で肯定的評価が上昇しました。「1. 学校は楽しい」「2. 学習指導」「3. 家庭学習」「12. 情報」は昨年度とほぼ同じ(差異1%以内)。「5. あいさつ」「9. 生活習慣」「10. 運動」「11. 安全」の項目では肯定的評価が低下しました。
- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が特に多かったのは、「1. 子どもは学校へ楽しく行っている。」で94.9%(昨年度95.6%)でした。これに対応する児童アンケート「1. 学校は楽しい」の結果は肯定的評価の割合が90.9%(昨年度88.2%)でした。また、「2. わかりやすく指導している」で88.5%(昨年度89.5%)、これに対応する児童アンケート「授業はよく分かる」の結果は90.5%(昨年度88.2%)でした。
- ◆保護者アンケートの中で肯定的評価が特に低かったのは、「7. 子どもは、読書に親しんでいる」で54.5%(昨年度52.8%)でした。対応する児童アンケートでは「7. 本を読むことが好き」77.9%(昨年度72.7%)でした。
- ◆2番目に評価が低かったのは「5. 子どもは、学校や地域や家庭で、進んであいさつをしている。」で61.2%(昨年63.1%)でした。対応する児童アンケートでは「5. 家や地域や学校で、自分から進んであいさつをしている。」78.8%(昨年80.8%)でした。
- ◆3番目に低かったのは「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、宿題など家庭での学習をしている。」で66.9%(昨年度66.5%)です。上記グラフには表れませんが、学年別集計より、高学年ほど学年×10分の学習時間を確保する割合が下がる傾向が見られます。この項目については、学校の考え方や取組を引き続き保護者に呼び掛ける等して、学校と家庭の連携を強化していく必要性があります。
- ◆「読書に親しむ」については、前年度に比べ児童アンケートの結果が5ポイント以上上昇しました。朝読書の取組や読み聴かせボランティアによる取組は定着しています。加えて、昨年度中に図書室のリニューアルを実施し、読書に親しめる環境が整備されました。リニューアル後も、図書ボランティアの方の協力もあり、心地よい読書環境が維持されています。また、本年度は9月末まで週2日程度、**学校司書も加わって図書室の運営を行いました。**今後も子どもたちに読書の楽しさに触れられるよう工夫していきたいと考えます。

- ◆学力向上については、保護者アンケート「2. 学校は、子どもの学習内容が身につくよう、わかりやすく指導している。」は、88.5%(昨年度89.5%)でした。一方、児童アンケート「2. 授業はよくわかる」は、90.5%(昨年度88.8%)でした。本年度は、児童自身が学習による伸びを実感できるよう「ふりかえり」のポイントを明確にして学習活動に取り組んでいます。また、「学び合い学習」が活性化するように、課題設定や聴き合う関係づくりの構築もめざしています。今後も、授業改善に向けた研修・実践に取り組み、児童の学力向上を図っていききたいと考えます。
- ◆体力向上については、保護者アンケート「10. 子どもは、運動に親しみ、体をよく動かしている。」の項目で72.4%(昨年度73.8%)、児童アンケート「10. 体育の時間や休憩時間には、体をよく動かしたり、外で遊んだりしている。」の項目で77.2%(昨年度80.1%)という結果でした。家庭学習のひとつに、「体育の宿題」を位置づけて体力向上に取り組んでいるところです。「体育の宿題」の内容は、体育の学習内容に応じたものとなるよう検討しています。ご家庭でもお子さんと一緒に体を動かして、運動を楽しんで頂ければと思います。
- ◆保護者アンケートの「8. 学校は、いじめ等がない学級づくりに努めている」と児童アンケートの「8. 相手のことを考えて行動している。」については、肯定的評価の割合が共に80%以上になっています。高い割合を維持していますが、今後も「いじめは絶対許されない」という指導を徹底していきたいと考えています。
- ◆保護者アンケート「9. 子どもは、早寝早起きなど規則正しい生活をしている。」の項目では肯定的評価が72.9%に対し、児童アンケート「9. 早寝早起きなど、規則正しい生活をしている。」の項目で69.0%という結果でした。学年別に見た場合、高学年になるにつれて基本的な生活習慣が乱れる傾向が見られます。全国的な調査から、基本的な生活習慣と学習意欲は関わりがあるといわれています。今後も家庭や各校園と連携しながら、取組を進めていきたいと考えます。

※保護者および児童アンケートの結果を活用した自己評価と改善策等につきましては、「平成29年度 唐崎小学校学校評価書」をご覧ください。